



今年度のキーワード～ 笑顔があふれる子どもが主役の学校 ～

◆ 令和7年度 全国体力・運動能力調査の結果 ◆

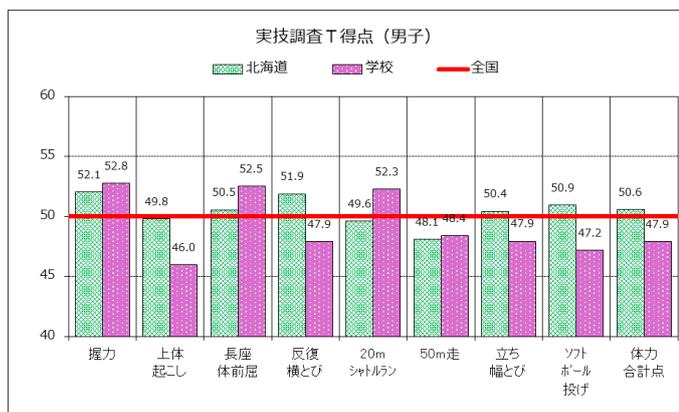
令和7年度「全国体力・運動能力調査」について、本校の結果分析がまとまりましたのでお知らせいたします。この調査は、全国の小学校5年生と中学校2年生を対象に実施されており、今回、調査結果が届きましたので、その概要をお知らせいたします。

なお、この結果については、本校の5年生を対象とした結果であることから、必ずしも本校全体の教育活動の結果を表すものでないことを申し添えます。

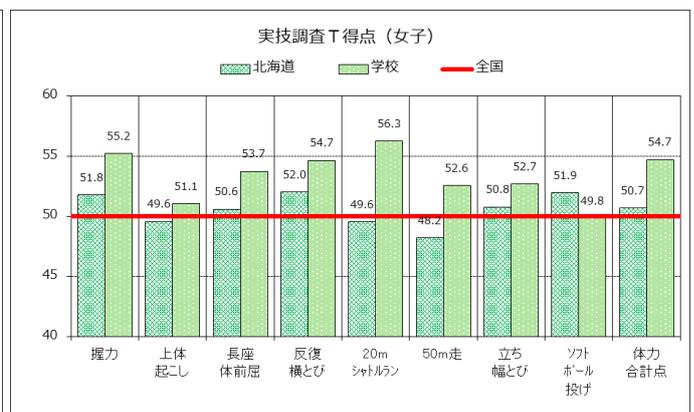
実技調査（8種目）の結果について

実技調査は、握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20m シャトルラン、50m 走、立ち幅とび、ソフトボール投げの計8種目で行います。

令和7年度の結果では、男女共通の強みとして筋力を示す「握力」と、柔軟性を示す「長座体前屈」、持久力を示す「20m シャトルラン」が全国平均を大きく上回っています。特に女子では、ソフトボール投げ以外の全種目で全国・北海道平均を上回っています。男子は「握力」「長座体前屈」「20m シャトルラン」が高い一方、上体起こしや投力などに課題が見られます。女子は体力合計点が54.7%に達しており、全般的に優れた身体能力を発揮しているのが本校の実技面の特徴です。



5年生男子（紫色が本校男子）



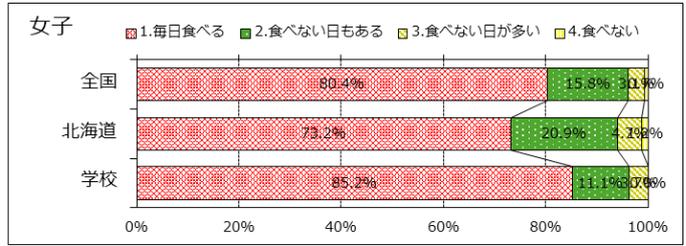
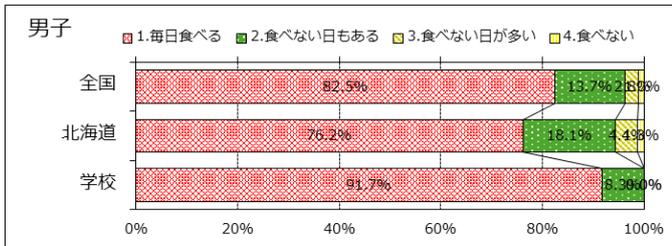
5年生女子（黄緑色が本校女子）

児童質問紙の結果について

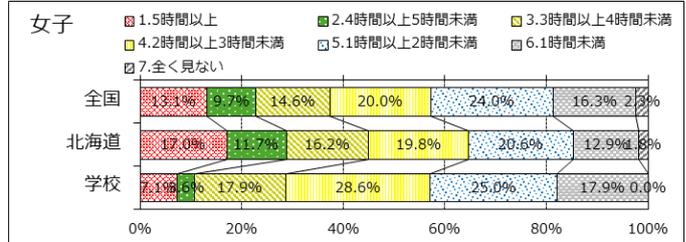
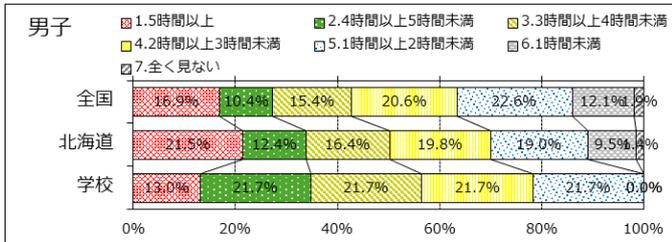
本校の児童は、良好な生活習慣と高い運動意欲をもっているのが特徴です。朝食を「毎日食べる」割合は男子91.7%、女子85.2%と全国平均を大きく上回り、生活の基盤が整っています。ただ、平日における学習以外のスマートフォンやパソコンを2時間以上見続ける時間は、全国平均より高い水準を示しています。

体育の授業を「楽しい」と感じる児童は男子87.5%、女子60.7%にのぼり、特に男子は全国平均を大きく上回るなど高い意欲を示しています。また、将来的に運動を継続したいと考える児童の割合も全国平均より高く、前向きな姿勢が見られます。これらの規則正しい生活習慣と運動への積極的な態度が、本校の優れた体力値を支える大きな要因となっています。

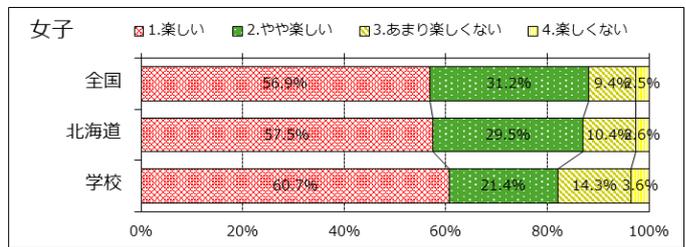
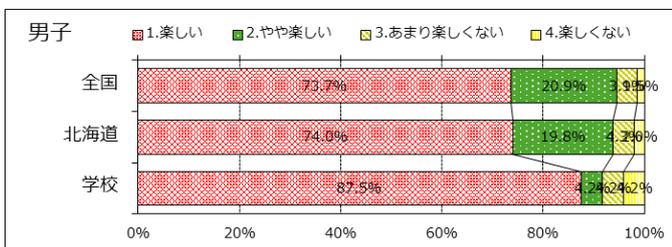
【Q：朝食は毎日食べますか。(学校が休みの日も含む)】



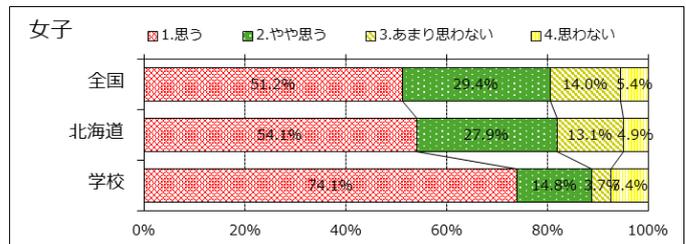
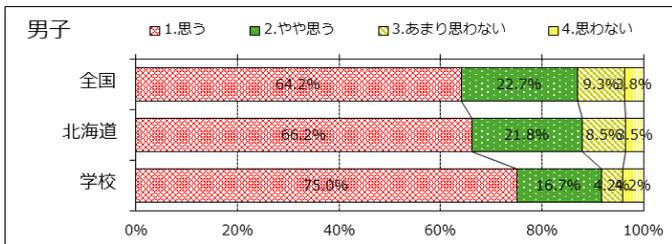
【Q：平日（月～金曜日）について聞きます。学習以外で、1日にどのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ていますか。】



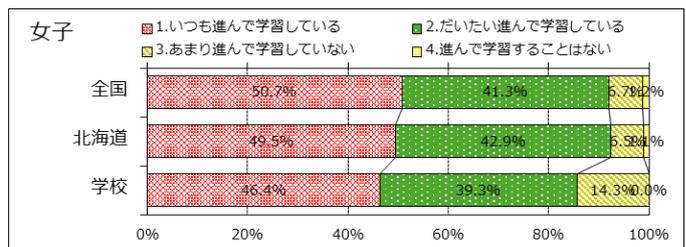
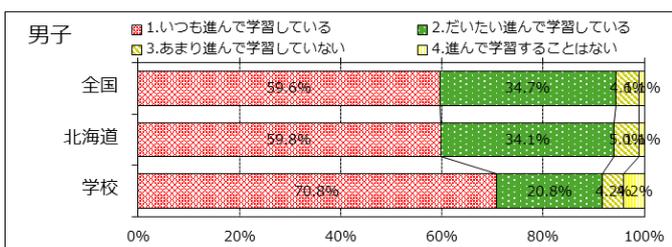
【Q：体育の授業は楽しいですか。】



【Q：中学校に進んだら、授業以外でも自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか。】



【Q：体育の授業では、進んで学習に参加していますか。】



今後に向けて

本校の児童は、男子を中心に運動への関心が非常に高く、自己肯定感も高い傾向にあります。一方で、実技面で非常に高い能力を示している女子が、質問紙では運動を「好き」と回答する割合が低いという側面もあります。今後の体力向上に向けて、児童が体を動かすことを楽しみながら、達成感を味わえるよう、ICTの効果的な活用を通じて「わかる・できる」喜びを感じられる授業づくりを推進します。各ご家庭におきましても、良好な「生活習慣(朝食摂取等)」の継続と、メディア利用時間の見直しなど、健康な体づくりの基盤を共につくっていただければと考えています。ご協力よろしくお願いいたします。

